



# 古楽の街甲府 再発見! 「王様が愛した音楽」

〜 Concerto Pedemontano 〜

2023年9月19日(火)

開場 18:30 開演 19:00

会場 YCC県民文化ホール 大ホール “ステージinステージ”

(山梨県甲府市寿町26-1 TEL 055-228-9131)

〜トロンボーンとヴァイオリンによるヴェネツィア栄華の残影〜

ルネサンス期、音楽の中心地ヴェネツィアでは、サクバット(トロンボーンの始祖)やヴァイオリンを用いた豪華絢爛な音楽文化が華開きました。音楽好きのハプスブルクの王様「フェルディナンド3世」は、ウィーンにヴェネツィアの音楽家をたくさん呼び寄せて、お城をヴェネツィア風の音楽で包みます。その後、戦争や疫病により本場ヴェネツィアは衰退しますが、ウィーンではその音楽文化が独自の進化を遂げ、モーツァルトやベートーヴェンの音楽に繋がっていきました。

コンサートではその豪華絢爛な音楽の数々を、トロンボーン始祖である楽器「サクバット」やバロックヴァイオリン、チェンバロといった、当時のヴェネツィアン・スタイルでお届け。YCC県民文化ホールの「ステージinステージ」で、皆様をヨーロッパ宮廷のサロンにご招待。その響きを手の届くような距離でお愉しみてください。

チケット 全席自由(定員150席)

- ◆一般 2,000円
  - ◆高校生以下および60歳以上 1,000円
- 未就学児入場不可

【電話・窓口】 YCC県民文化ホール チケットセンター  
Tel. 055-228-9131

【オンライン】 YCC県民文化ホールオンラインチケット  
からアクセスください ↓

【お問い合わせ】  
YCC県民文化ホール  
Tel. 055-228-9131



PROFILE

コンチェルト・ペデモンターノ

トロンボーンの始祖サクバットを中心に据えたヴェネツィアン・スタイルの古楽合奏団。

富士山麓を活動拠点に、世界に向けて、魅力的で、質の高い古楽を発信することを目指し活動をスタート。

Pedemontanoは「山麓」を意味するイタリア古語。

Concerto Pedemontano

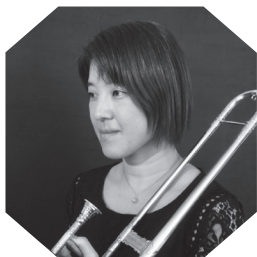


大内 邦靖  
(サクバット)

SACKBUT

東京学芸大学卒業。同大学院修了。  
Euro-Japan Music Academy において大賞(ビュッフェ・クランボン賞)を受賞。1997年第1回大阪トロンボーンコンペティションソロ部門入選。イタリア・ポルチア国際音楽コンクール2大会でセミファイナリスト。サクバット奏者として、アントネッロのオペラフレスカ、ヘンデル・フェスティバル・ジャパン、バロック時代の金管と歌の対話、コントラポントのVespro、ルネサンス驚きの立体音響、対峙する管と弦、オルフェオ・ジャパンなどに出演。

2017年サクバットによるリサイタルを開催。現在、山梨大学教育学部教授。



野村 美樹  
(サクバット)

SACKBUT

愛知県立芸術大学音楽学部卒業。フランス国立ペルピニャン音楽院をトロンボーンと室内楽で満場一致の金メダルで卒業。

トロンボーンを吉川武典、藤澤伸行、Marc GADAVEの各氏に、室内楽を安元弘行、武内安幸、Jean-Pierre CENEDESEの各氏に師事。サクバットで古楽演奏法を濱田芳通氏に師事。

シンフォニエッタ静岡トロンボーン奏者。



深澤 真紀子  
(サクバット)

SACKBUT

玉川大学文学部芸術学科卒業、同大学芸術専攻科修了。

トロンボーンを山下誠一、大内邦靖、ジャック・モージェの各氏に師事。

現在、CASA BRASS ENSEMBLE、トロンボーンカルテットENのメンバー。

常葉大学教育学部附属橘小学校オーケストラ科非常勤講師。



古橋 孝之  
(サクバット)

SACKBUT

国立音楽大学卒業。トロンボーンを外川裕彦、箱山芳樹、細田忠義の各氏に、ジャズ・トロンボーンをIra Nepus氏に師事。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のルドルフ・ヨーゼルのマスタークラスを受講。マンハッタン・トランスファー日本ツアー、ミュージカル「イン・ザ・ハイツ」などに出演。現在、フリーランサーとしての演奏活動のほか後進の指導を行っている。アンサンブル・ヴァリエ、トロンボーンカルテットEN、Orchestra de "R"のメンバー。



丹沢 広樹  
(バロック ヴァイオリン)

VIOLIN

2000年より国内外で研鑽を積み08年「Cembalism!!」を録音、翌年NHK-FMに収録曲で生出演。同年「Sonar Cantando」での公演が月刊「音楽の友」誌にて『年間コンサートベスト10』に選ばれ、2010、12年伊ブレーシャ国際音楽祭に招聘されるほか、多数のレコーディング、公演に参加。2019年Buxtehude作の「Membra jesu nostri」をAOIにて主催。2021年よりクラシック史500年の表裏を紐解くPT「Vittorio Barocco」を立ち上げる。



森澤 麻里江  
(バロック ヴァイオリン)

VIOLIN

東京藝術大学音楽学部卒業。これまでにヴァイオリンを奥村智洋、松原勝也、漆原朝子、水野佐知香、野口千代光、バロックヴァイオリンを丹沢広樹、室内楽を坂井千春、東誠三、菊地知也の各氏に師事。横浜交響楽団定期演奏会にてソリストとしてオーケストラ共演。東京藝術大学シンフォニーオーケストラのプロムナードコンサートではコンサートミストレスを務める。都内や地元横浜にて定期的なリサイタルを開催。ソロ、室内楽、オーケストラなどの分野でモダン・バロック問わず活動、子供への指導やアウトリーチなどの活動も積極的に行なっている。



杉山 佳代  
(チェンバロ)

CEMBALO

東京藝大、同大学院修士課程修了後、ハーグ王立音楽院に留学、各チェンバロ科専攻。幼少より生田流箏曲を森親静氏に師事。小学生時代よりバッハに興味を持つ。

チェンバロ、通奏低音奏法等を山田貢、鈴木雅明、トン・コーブマン、多田逸郎の各氏等に師事、クラヴィコードを渡辺順生氏の指導を受ける。

安宅賞、第7回古楽コンクール第一位、上原賞、第5回栃木(蔵の街)音楽祭賞、第5回楽友協会クラシックサロン音楽賞受賞。1998年度より(社)沼津牧水会主催の古楽コンサートシリーズを企画、出演。

チェンバロファンシアーズを主宰、コンチェルトゼフィロ鍵盤奏者、静岡県立沼津西高等学校芸術科講師、みゆずメゾン所属。